

住民による島内車両の管理により、支援事業が円滑に実施されている事例 (愛知県 南知多町 日間賀島)

<自動車リサイクル法施行前>

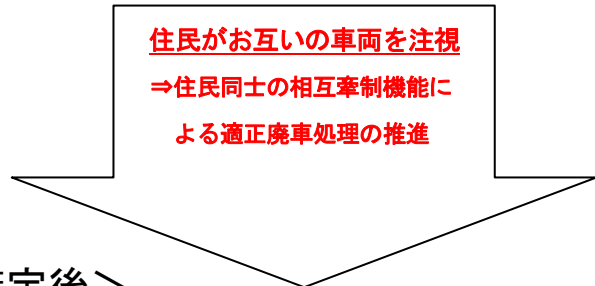
状況

- 中古車が多く、数年で島内に放置車があふれてしまう状態が続いていた
⇒廃車を取りまとめ島外に搬出する仕組みを考案(H15年1月より)
- 理解不足により一部で放置が止まず、自治区が撤去費用を負担し処理していた

⇒ 住民代表でつくる「**島を良くする会***」が、島内車両の管理制度を制定

- 島への搬入時に管理台帳へ登録
- 車両へ登録番号シールを貼付
- 廃車時に自治区の事務所に連絡 (事務所が取り纏め、島外搬出の手配を実施)

*自治区長、地域事務所の代表者、漁協、PTA、学校、婦人会、安全協会の代表者で構成



<島内ルール策定後>

島内で放置される車両は明らかに減っており、支援事業が開始当初(18年4月)から円滑に実施されている

南知多町の離島対策支援事業

	保有台数	計画台数	H18 第1 四半期	発生率(%)	備考
日間賀島	1,063	200	33	16.5	H18から事業を開始した 市町村の中で 全国一
篠島	1,134	200	22	11.0	
合計	2,197	400	55	13.7	

改善点及び効果

- 住民モラルの向上
- 放棄車の撤去にかかる自治区の持ち出し費用の負担軽減
⇒管理制度より所有者が判明できるため、放棄される車両が無くなった
- 従前の島外搬出方法を、自動車リサイクル法に対応した運用に移行
⇒結果、住民の負担が減り、島の廃車が円滑に島外搬出されている

⇒ 地域別に色分けした管理シールを作成し、管理の効率化を図っている
各自治区も違反者に対して指導を実施しやすい
廃車時の取り纏めにより輸送費についても低減が図られている(4台/回)

【参考】軽自動車による費用比較

	個人が運搬 (従前)	地区取り纏め (4台/回)	削減率
1台あたりの輸送費	3,970	2,000	約50%

1台当たりの差額 1,970

(具体的取組)

購入時

登録

- 住民がカーフェリーで購入車両を持ち込む
- 持ち込んだ車両を自治区の事務所に届け出る
 - 管理台帳に登録 (登録番号、シールの色、車種、ナンバー及び車台番号、登録日)
 - 管理番号シールの交付 (シールは地域や業種毎に色分け)
青：東地区住民
白：西地区//
緑：事業所、法人
- 所有者はシールをリア・ウィンドウ左下に貼る
⇒シールのない車両は区長から指導がなされる

廃車時

- 廃車の際は、事務所に届出
 - 4台溜まると自地区の事務所が業者に連絡
 - 4台を取り纏め島外搬出し、費用負担を軽減

適正にリサイクルルートへ

運用上の課題：①シール貼付の徹底 …… 登録完了後貼付していない車両への指導徹底

②台帳管理の電算化 …… タイムリーに情報の更新が出来ていない